

1. 目標フレーム見直しの考え方

戦略計画見直しの基本となる指標（目標フレーム）の見直し内容は、次のとおりである。

(1) 人口

平成 22 年度以降は、総人口は微減が続いている。この間の人口減少は、外国人の減少が大きく影響している。外国人は、平成 20 年度まで大幅な転入超過が続いていたが、平成 21 年度に転出超過に転じており、景気後退の影響が一つの大きな要因になっているものと推察される。景気は回復しつつあるとする材料も出てきているが、今後の見通しはいまだ不透明である。日本人が平成 25 年度には増加に転じたこと、外国人についても平成 24 年度には再び転入超過となったことなどから、人口減少に歯止めがかかり再び人口増加に転じる可能性も考えられるが、現時点で判断することは難しい。

平成 25 年度時点の総人口は、「江南市戦略計画」策定時に設定した目標人口を 1,143 人下回っているが、これは目標人口に対して 1.113% の誤差であり、現時点で政策展開の枠組みに大きな影響を及ぼすものではない（許容範囲の誤差である）と考えられる。なお、目標人口からの乖離の内訳をみると、外国人の乖離分が多くを占めている（乖離率 35.167%）。

また、江南市、および周辺自治体において、大規模な宅地開発や工場誘致など、今後の人口増減に大きな影響を与える新たな要因は想定されていない。

以上より、現時点では、将来目標人口を見直す必然性は低いと考えられる。よって、第二次改訂基本計画では、「江南市戦略計画」で掲げた将来目標人口を引き続き継承していくこととする。

◇将来目標人口

年 度	平成 22 年度	平成 25 年度	平成 29 年度
総人口	102,100 人 (実績：102,128 人)	102,700 人 (実績：101,557 人)	103,000 人
年少人口 (0～14 歳)	15,237 人	14,973 人	14,260 人
生産年齢人口 (15～64 歳)	64,854 人	63,683 人	61,854 人
老年人口 (65 歳～)	22,009 人	24,044 人	26,886 人

(2) 財政

平成 24 年度決算及び平成 25 年度予算を基礎として、平成 29 年度までの財政状況を一般会計ベースで見通す予定である。

(歳入)

市税は、今後予想される税制改正及び人口推計などを加味して推計する。

地方交付税は、市税等の動向や現状を勘案して推計する。

その他、歳入については、平成 24 年度決算を基礎として、過去の実績の推移等を勘案して推計する。

(歳出)

人件費は、今後の職員数を見込んで推計する。

扶助費は、少子・高齢化への対応等の行政需要が年々増加することが予想されるが、人口推計などを加味して推計する。

投資的経費は、布袋駅付近鉄道高架化整備事業などの大型プロジェクト事業など、計画期間内に実施する事業を踏まえ、推計する。

その他の歳出については、平成 24 年度決算を基礎として推計する。

引き続き、施設維持管理に係る経費を別枠で設け、年度事業費の平準化を図り、施設の耐用年数に直接影響する工事を、優先的かつ計画的に行っていく。

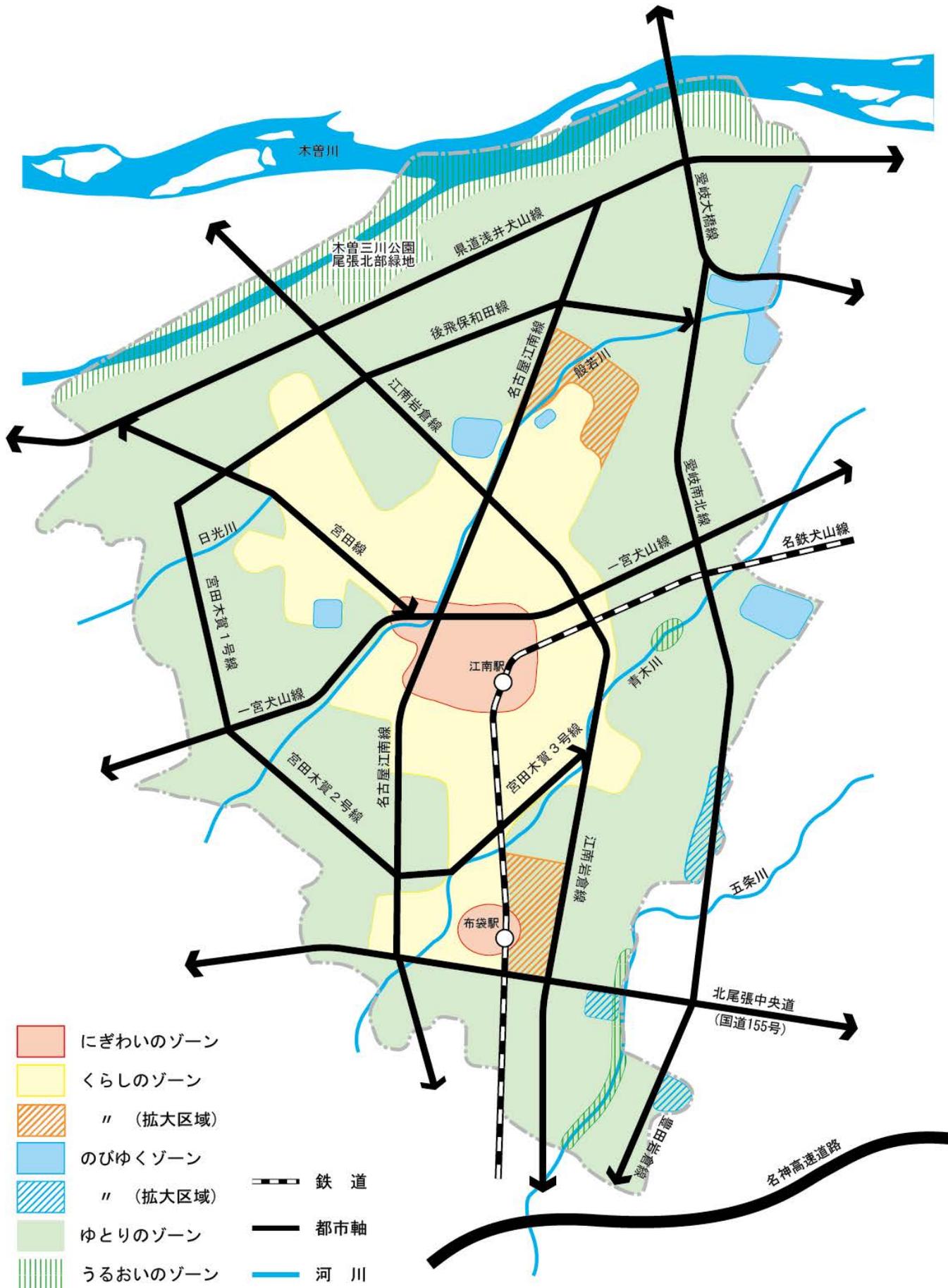
(3) 土地利用

土地利用の方針については、前回（平成 22 年度）の見直し時に、平成 21 年 3 月に策定された江南市都市計画マスタープランの内容を反映させるための見直しを行ったところであるが、その後は特に方針転換がないため、軽微な時点修正のみを行うこととする。

見直し内容は次のとおり

- ・土地利用構想図の「木曾三川公園尾張北部緑地」を「木曾三川公園尾張緑地」に修正

【修正前】



【修正後】

